



No.530

元気な子 考える子 やりぬく子 助け合う子

西ヶ原だより

西ヶ原小学校ホームページ

<http://bit.ly/nishigahara>



令和6年1-2月発行

北区立西ヶ原小学校

校長 諸田 哲

ほっとする年末を

校長 諸田 哲

例年より高温が続いた10月、11月でしたが、一気に秋を飛び越え冬の寒さを感じる日も多くなりました。そんな中、11月29日(金)30(土)開催の展覧会に多くのご参観をいただき本当にありがとうございました。個々の作品、みんなで作った共同作品、それぞれ作品単体のもつ素晴らしさだけでなく、展覧会として子供たちの作品が一同に展示されることで、表現される美しさも感じることができた2日間でした。11月上旬から一気に校舎増築工事のペースが上がり、あっという間に校庭に築かれた囲いも、今回の展覧会では、子供たちの素敵な作品の展示スペースに早変わりです。見ている私たちを、ふと笑顔に変えてしまう子供たちの作品の力は本当に素晴らしいと思います。ご参観いただいた多くの人から子供たちへのお褒めの言葉をいただきました。この場で改めてお礼を申し上げます。

さて、令和6年も残すところ1か月となりました。年度で考えても一年の三分の二が終わりました。12月は和風月名「師走」の字のイメージからか、忙しい年末という印象があります。そんな中でも、学校では、まずは一年の一区切りとして落ち着いて学習活動のまとめをしていきたいと思えます。また、各ご家庭では楽しい年末年始の取組があると思えます。新たな年を元気よくスタートできるように、子供たちとよい年末をお過ごしください。来年も西ヶ原小学校をどうぞよろしくお願いたします

12月 行事予定

SC …スクールカウンセラー来校日

日	曜	時	行事予定
1	日		
2	月		振替休業日
3	火	A	全校朝会 SC
4	水	特	4時間授業
5	木	A	安全指導 委員会 SC
6	金	B	図書ボランティア読み聞かせ(下学年) 飛鳥中体験入学(6年) 4時間授業(1~5年)
7	土	土	土曜日授業 2時間授業 もちつき集会
8	日		
9	月	A	全校朝会 5時間授業 たてわり班で遊ぼうの日
10	火	A	5時間授業 クラブ活動 社会科見学(4年) SC
11	水	水	児童集会 4時間授業
12	木	A	音楽朝会 技科タイル授業(6年) SC 6時間授業(6年・他は5時間)
13	金	A	5時間授業 学校運営協議会
14	土		

日	曜	時	行事予定
15	日		
16	月	特	全校朝会 技科お琴授業(4年) SC
17	火	A	クラブ活動 クラブ見学6校時(3年)SC
18	水	特	
19	木	A	児童集会 SC
20	金	A	避難訓練
21	土		
22	日		
23	月	A	全校朝会
24	火	B	4時間授業 給食終
25	水	B	4時間授業 給食なし
26	木		冬季休業日始 SC
27			
28			1月の主な予定 8日(水)給食始
29			9日(木)席書会(5,6年)委員会
30			10日(金)席書会(3,4年)
30			14日(火)校内書き初め展始
31			

生活目標 **落ち着いた生活を送りましょう**

☆冬休み前に、今年一年を振り返り、めあてをもって落ち着いた学校生活を送れるよう指導していきます。

5年岩井自然体験教室

(10月29日~31日)

10月29日(火)から31日(木)の2泊3日で、5年生が岩井自然体験教室に行きました。日頃できない貴重な体験をしたり、友達と協力して過ごしたりすることで、また一回り成長することができました。

1日目

大房岬、竹とんぼ作り、キャンドルファイヤー



大房岬では、雨の影響で自然散策はできませんでしたが、学園に戻ってきてから竹とんぼ作りをしました。夜は、レク係が中心となりキャンドルファイヤーを行いました。みんなでレクをして大盛り上がりでした。

2日目

アロハガーデンたてやま、星の学習



アロハガーデンたてやまでは、動植物とふれ合いをしたり、行動班で協力してオリエンテーリングを行ったりしました。夜は、宇宙や星についての貴重なお話を聞かせていただきました。

3日目 鴨川シーワールド



鴨川シーワールドでは、行動班で計画したことを基に、園内を散策したり、シャチのショーを見たりしました。間近で見たシャチのショーは迫力満点でした。

1・2年生 遠足



10月23日(水)、1・2年生は飛鳥山公園まで遠足に出かけました。2年生がリーダーシップをとり、1年生に優しく接して楽しい時間を過ごしました。また、秋さがしでどんぐりや色づいた葉を見付けることもしました。

研究授業(3年)

10月17日(木)に3年2組で算数の研究授業が行われました。「2けた×1けた」の答えはどのようにしたら求められるのだろうか、ということをめあてに、子供たちがいろいろな考え方を出し合っていました。

